

第一号



第1回 「景観計画ってなに？津島市の現状を知ろう！」  
開催日時：3月16日(土) 14:30~16:00  
@旧いちい信用金庫天王通支店

今後の予定  
済 第1回 3/16(土) 景観計画ってなに？津島市の現状を知ろう！  
▷ 第2回 5/18(土) まちなかを歩いて今の景観を確認しよう！  
▷ 第3回 6/15(土) 将来、どんな町並みにしたいか考えよう！  
▷ 第4回 8/3(土) 町並みを守り活かすためのルールを決めよう  
▷ 第5回 1月頃 みんなで考えた将来の景観を見てみよう！

~実施プログラム~

- \* 第1部 景観計画とは
- \* 第2部 数字でみる津島の現状
- 【休憩】
- \* 第3部 質疑応答
- \* 第4部 これからやること



0 第1回の参加者はなんと・・・35人！

景観に関するワークショップの1回目にも関わらず、たくさんの方に参加していただきました。おかげさまで、準備していた椅子がすべて埋まるほどの大盛況でした・・・参加いただいた皆さんありがとうございました！

1 第1部 景観計画とは

そもそも景観とは何か、時代の変化による市内の景観の変化、最近できた景観やちょっと気になる景観について説明をしました。また、景観計画がどんな計画で、具体的にどんな内容を計画するものなのかを説明しました。このように、第1部では今後景観について考えていくにあたり一番土台になる内容を説明しました。

参加者からは「景観という言葉の指すものがわからなかったので聞いて良かった」という意見もいただきました。

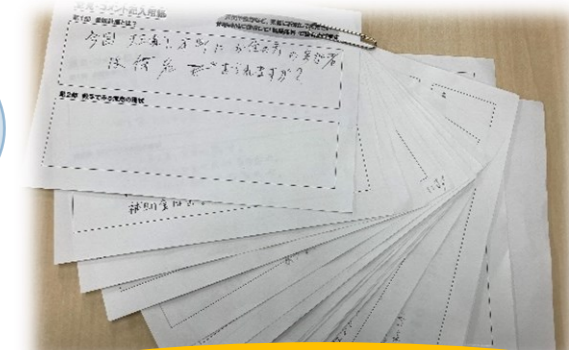


2 第2部 数字でみる津島市の現状

津島市の現状を様々な数字で説明しました。具体的には天王通りの歩行者数や景観に関する市民アンケートの結果、津島市内の空き家の割合、天王通りを対象とした色彩調査の結果などです。普段生活している中でなんとなく感じている津島市の現状が数字によってはっきりと示されたことで、津島市の現状がより具体的なイメージしやすいものとなりました。また、説明を聞いて、「景観に関するルールを必要だと思っている人が85%もいることが意外であった、多いと感じた」という参加者の意見が多くあり、イメージしていた現状と実情のギャップに気づくことができました。



地元のお菓子屋さんのお菓子とお茶を飲みながら休憩していただきました♪



多くの質問やコメントをいただきました

3 第3部 質疑応答

休憩中に質問や感想を用紙に書いてもらいました。その用紙の中からランダムに選択し、回答していきました。(2ページを見てください)

4 第4部 これからやること

計5回実施するワークショップの各回の具体的な内容を説明しました。これから使用するVRがどんなものか説明し、実際に体験してもらいました。



読み込むとVR体験できます↓

〇次回のご案内  
第2回 まちなかを歩いて今の景観を確認しよう！  
5月18日(土) 14:30~  
@旧いちい信用金庫天王通支店

お問合せ:津島市建設産業部都市計画課  
マスタープラン推進室  
TEL :0567-55-9357  
Mail:toshikeikaku@city.tsushima.lg.jp



## ～第1回ワークショップ Q&A (主要抜粋)～

Q1. 景観計画で目指す目的（景観を高めてめざすもの）はなんですか？

A1. 津島市では、2020年に津島市固有の歴史的風致を守り、育て、継承し、地域の活動の活性化につなげていくために、「津島市歴史的風致維持向上計画」を策定しました。景観計画は、この計画と合わせて、古い建物を保全しながら町並み全体の景観を整えていくことで、**津島市の魅力が高まり**、「住みたい」「行ってみたい」「店を出したい」などの人の営みにつながり、**町が賑わう**ことです。

Q2. 計画を立てるとしたら何年後をイメージしたら良いでしょうか？

A2. 町並みは少しずつ変化するものとなりますので、多くのまちづくり計画は10年後をイメージして作成します。景観計画も**10年後をイメージ**しています。

Q3. 景観づくりの際のコンセプトはなんですか？

A3. コンセプトは、**これまでのワークショップの結果や今年度のワークショップの結果を参考**にして決めていきます。現時点では、これまでのワークショップの結果より、**天王通りと本町筋を中心に**考え、天王通りでは津島駅近くの**駅前ゾーン**、**本町筋と交差する中央ゾーン**、**津島神社近くの神社ゾーン**に区分してコンセプトづくりをしたいと考えております。

Q4. 核となる施設（神社、いちい信金、駅前など）をもとに、町並みを形成したらどうでしょうか？

A4. 津島駅や津島神社なども含め**町並みに調和するように考えていきます**。

Q5. 津島駅から津島神社までの道路が都市計画では拡張計画になっていますが、将来見直しの計画はありますか？

A5. 景観計画の策定とともに**拡張計画も見直す予定**です。

Q6. ルールは天王通りと本町筋のみでしょうか？それとも、歴史的なエリアまで広げる予定でしょうか？

A6. アンケート結果を踏まえ、**天王通りと本町筋を中心に**「津島市歴史的風致維持向上計画」で定めた重点区域を参考に検討していきます。

Q7. 建て替えとかが難しくなるのでしょうか？

A7. 建物を建築することに影響はありませんが、定められた規模を超える建物の外壁色彩や屋根などの**外観にルールが設定**されます。

Q8. 補助金はできるのでしょうか？

A8. 建築制限だけを設けるだけでなく、古くから受け継がれる町家建築物の**改修費補助**や、その他の建築物に対する**外観整備の税制の軽減措置**などの**補助制度を創設していく予定**です。

Q9. 知識のない私でもできることはなんですか？

A9. 知識の有無は関係なく、**景観への思いがあれば誰でも**計画づくり、景観まちづくりに参加できます。

多くの質問やコメントを80個いただきましたが、多過ぎて掲載できませんでした。掲載できなかった質問はホームページに掲載いたします。

第二号



第 2 回

「まちなかを歩いて今の景観を確認しよう！」

開催日時：5月18日(土) 14:30~16:40

開催方法：現地踏査

今後の予定

済 第 1 回 3/16(土) 景観計画ってなに？津島市の現状を知ろう！

済 第 2 回 5/18(土) まちなかを歩いて今の景観を確認しよう！

▷ 第 3 回 6/15(土) 将来、どんな町並みにしたいか考えよう！

▷ 第 4 回 8/3 (土) 町並みを守り活かすためのルールを決めよう

▷ 第 5 回 1月頃 みんなで考えた将来の景観を見てみよう！

~実施プログラム~

- \* 14:30-14:35 開会あいさつ
- \* 14:35-14:45 現地踏査の内容説明
- \* 14:45-16:30 現地踏査
- \* 16:30-16:40 振り返りと次回以降について



0 第 2 回の参加者はなんと・・・27人！

当日は 30℃ 近くにも及ぶ夏日にもかかわらず、たくさんの方に参加していただきました。参加者のうち、初めて参加した方が 13 人、2 回目の方が 14 人で、半数以上の方が前回に引き続いての参加でした。

参加いただいた皆さん、ありがとうございました！

1 現地踏査の内容説明

現地踏査を開始するにあたり、現地踏査の趣旨や現地を見るときポイントの説明をしました。参加者の中には市内在住で現地踏査範囲をよく知っている方もいらっしゃいますが、「景観」という観点で、どういう視点でまちを歩く・見ることが大切かを説明し、参加者の意識統一を図りました。

◎現地を見るときポイント

- ① 「良い景観」、「良くない景観」、「好きな景観」などを発見！
- ② 建物の色や形、道路の色や広さなどを見て、どんな町並みかを確認！
- ③ 「将来、〇〇な景観になったらいいな。」を想像しながら歩く！



2 現地踏査（まち歩き）

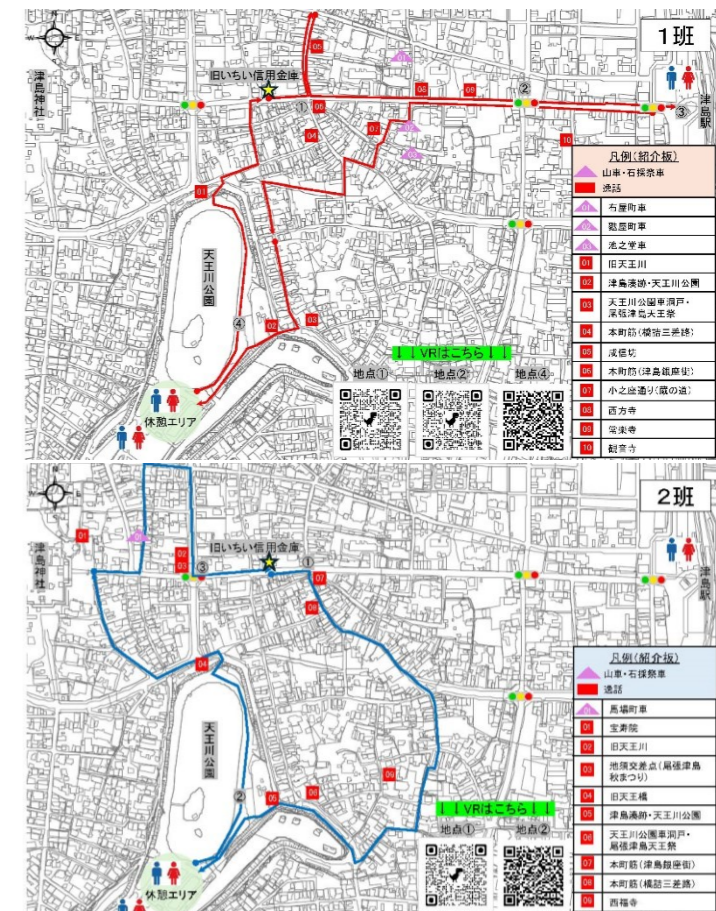
現地踏査では 2 班に分かれ、天王通りと本町筋を中心とするエリアを歩きました。各ルート歩きながら現在の景観特性を確認するとともに、昔の写真（1947 年）を活用して現在と昔の景観の違いを確認したり、VR 技術によって歩道空間の将来形イメージや天王川公園からの眺望景観を確認したりしました。VR 技術によって「もしこうなったら・・・」という仮想空間を確認することで、日常生活の中では気づくことができない新たな発見があり、参加者も非常に興味を持っていました。まち歩きではルートを歩きながらワークシート（右図）に良い景観・気になった景観を記入しましたが、同じ視点を持って現地を見たものの、「良い・悪い」の基準は個人の感性によるものであるため、様々な意見が把握でき、非常に有意義なワークショップとなりました。

いただいた意見やコメントについては適切に整理し、今後の景観計画策定の参考にさせていただきます。（2 ページ目以降参照）

本町筋 天王通 5 交差点 天王川公園



↑読み込むと VR 体験できます！↑



天王通 5 交差点の VR



VRを確認している様子



眺望景観を確認している様子

3 振り返りと次回以降について

本日の振り返りとして、それぞれが撮った景観に関する写真のアップロードとワークショップに関するアンケートを実施しました（別紙参照）。「次回もぜひ参加したい！」という参加者が多く、津島市の景観に興味を持っていただけた方が増え、非常に有意義なワークショップとなりました。

次回もたくさんの方のご参加、お待ちしております！

○次回のご案内

第 3 回 将来、どんな町並みにしたいか考えよう！  
6月15日(土) 14:30~  
@旧いちい信用金庫天王通支店

お問合せ：津島市建設産業部都市計画課  
マスタープラン推進室  
TEL :0567-55-9357  
Mail:toshikeikaku@city.tsushima.lg.jp



# 1班



○良い景観である  
○側溝の装飾が良い  
○古い家並み、景観が残っている  
○格子のデザインが良い  
○店先にベンチがあって良い  
△幅員が狭いが車の通りが多い

○良い景観である  
○歩道の舗装が変わっていて良い  
△ポケットパークの安全面が気になる

○車の通行がないので、イベントに利用できると楽しそう  
○きれいな歩道、石のベンチが良い  
○蔵を改装したお店の雰囲気がいい

○シャッターに天王祭りの絵があって良い  
○店がそろっているといい感じになりそう  
△歩道が狭い  
△電線の見栄えが良くない

○緑と水が気持ちいい

○良い景観である  
○蔵の雰囲気が良い  
○ガラス屋さんのタイルがきれい、見せるように改修するといいかも  
○蔵があり、道路の細さ好き  
△山車をガラス張りにして、いつでも見られるとよい  
△蔵の外観を綺麗にしてほしい  
△古くて新しい若者が魅力に感ずる地区にしてほしい

○良い景観である  
△車止めの統一感がいいが、デザインに工夫がほしい  
△ウォークアブルにしたい  
△歩道が狭い  
△新旧の建物が統一されていない。色が統一されてなくても素材が一緒だと違和感がない  
△外灯は景観統一するのに役立つので、デザインをもう少し景観を意識するとよい  
△お寺の一覧が書いてある看板が見つらい、デザインを景観に合わせてもいい  
△空き店舗が残念

天王川公園

休憩エリア

# 2班



○鳥居の風景が良い

7

津島神社

△マンションが高すぎて目立ちすぎる

旧いちい信用金庫

1

○歴史的な町並みである、町屋の町並みを残したい  
○筋の入口にサインがあるのが良い  
○独特な舗装である  
○景観に合った新しい建物がある  
○街灯が本町筋と天王通りで意匠が異なる、街灯に屋号がある  
△歩いてみると、町屋やレストランがあって良いが、外から来た人は歩きにくい  
△道路が狭い  
△さびた建物の外観をよくしたい  
△自販機の色が目立ちすぎる  
△看板が高い位置にあっても歩行者は見ない

△オレンジの高層住宅がよくない

6

2

○好きな建物・舗装である  
○昔ながらの看板  
△シャッターや看板（カラフルなもの）、空家の景観がよくない  
△道路が狭い

○古き良き建物である  
○残したい建物である

5

天王川公園

△ここからの景観を価値あるものにする  
△樹木の高さを揃えてほしい  
△雑草がある  
△お店の看板が見える

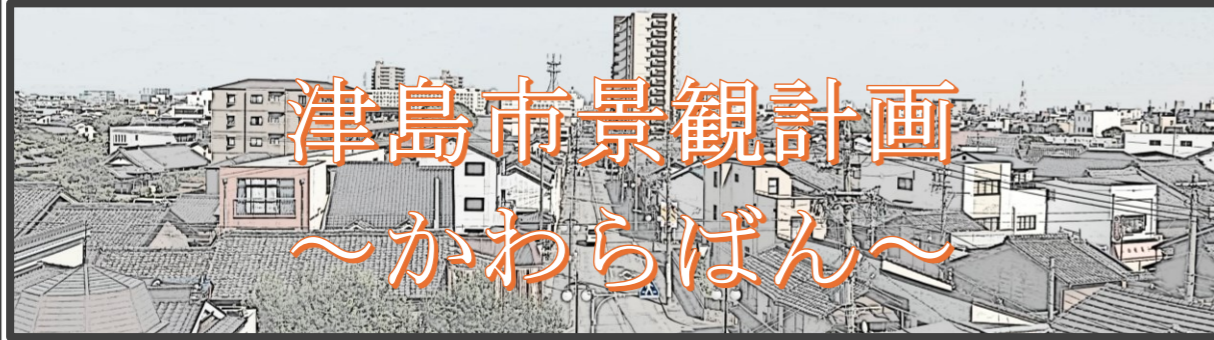
3

○津島らしい景観である  
○古い看板が良い  
○松並木が良い  
△洋風の新築住宅が津島らしくない  
△狭く急な入口で入りづらい  
△道路が狭い

4

休憩エリア





## 第3回

「将来、どんな町並みにしたいか考えよう！」

開催日時：6月15日(土)  
14:30~16:50

開催方法：説明会、意見交換

今後の予定

- 済 第1回 3/16(土) 景観計画ってなに？津島市の現状を知ろう！
- 済 第2回 5/18(土) まちなかを歩いて今の景観を確認しよう！
- 済 第3回 6/15(土) 将来、どんな町並みにしたいか考えよう！
- ▷ 第4回 8/3(土) 町並みを守り活かすためのルールを決めよう！
- ▷ 第5回 1月頃 みんなで考えた将来の景観を見てみよう！

## ~実施プログラム~

- \* 14:30-14:35 開会あいさつ
- \* 14:35-14:45 前回までの振り返りと今回の趣旨・目標の説明
- \* 14:45-15:05 景観に配慮した建物改修の事例と効果の説明
- \* 15:05-16:40 各班での意見交換、発表と総評
- \* 16:40-16:50 次回の予定について

## 0 第3回の参加者は18人でした！

参加者の中には第1回・第2回から引き続いて参加した方もいれば、今回初めて参加された方もいました。今回は**専門家の方々をゲストとしてお招き**し、今までの回とはまた違った雰囲気ワークショップとなりました。意見交換の際は予想以上に議論が盛り上がり、活発的なワークショップとなりました！

## 1 景観に配慮した建物改修の事例と効果の説明

愛知県内で景観に配慮した建物改修の実績がある(株)菅野企画設計様をゲストとしてお招きし、**改修事例やその効果について説明**していただきました。金銭面・手間等の点から**取っ掛かりやすい方法や少し手の込んだ改修方法の事例**など、様々な実績からの経験・知見をもとに分かりやすく説明いただき、参加者のイメージを膨らませていただきました。また、菅野様の地元であり現在有名な観光地として知られる高山市と津島市の類似点も教えていただき、**津島市の今後の可能性**が広がる話もしていただきました。



代表取締役 菅野良司さま



浅井 祐美さま

## 2 各班での意見交換、発表と総評

今回のワークショップでは、第1回・第2回で把握した津島市の景観の現状を踏まえ、将来どんな街並みにしたかを景観の観点から意見交換しました。過去の天王通り周辺に関する景観ワークショップの成果や第2回での現地踏査の結果を踏まえ、天王通り・本町筋周辺を「駅前ゾーン」「まちなかゾーン」「神社ゾーン」の3ゾーンに分けて**意見交換を実施**しました。(右図参照)

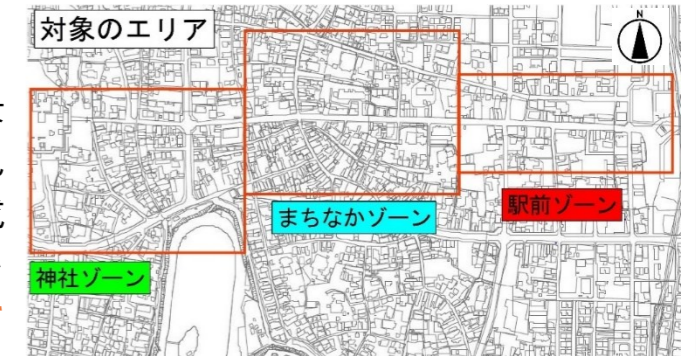
意見交換では各ゾーンの特性を把握した上で、景観に関する**ゾーン全体のコンセプトを決定**し、全体コンセプトに基づいて、天王通りや本町筋沿道の**建物の色や高さ検討**しました。色の自由度や建物のイメージによって区分した**4種類の建物ユニットを活用**し、建物の高さ規制等がわかりやすいように**立体的に検討**しました。色の自由度について、神社ゾーンが一番低く、**神社ゾーンから駅前ゾーンに向かうにつれて高くなり**、まちなかゾーンは古民家風の建物が多い結果となりました。高さの自由度について、**神社ゾーンは赤鳥居の眺望を意識し低層階の建物**が中心で、**駅前ゾーンは高層マンション等をイメージした高い建物**が特徴的でした。

(建物ユニット成果や意見交換結果は2ページ以降参照)

最後には各班の代表者が発表をし、菅野様と建築家の高橋様から**専門的な総評**をいただきました。行政・専門家目線では思いつかない**新鮮な発想**が詰め込まれ、夢あふれる発表ばかりでした。

## 3 次回の予定について

今回立体的に検討した「まちなかゾーン」の将来の景観について、高橋様に**パースを作成**いただき、**次回披露**する予定です！また、第3回より**詳細な町並みのルールについて意見交換**をする予定ですので、ぜひご参加ください！



駅前ゾーン



まちなかゾーン



神社ゾーン

設計まちづくりテント  
高橋 梢様

## ○次のご案内

第4回 町並みを守り活かすためのルールを決めよう！  
**8月3日(土) 14:30~**  
@旧いちい信用金庫天王通支店

お問合せ：津島市建設産業部都市計画課

マスタープラン推進室

TEL :0567-55-9357

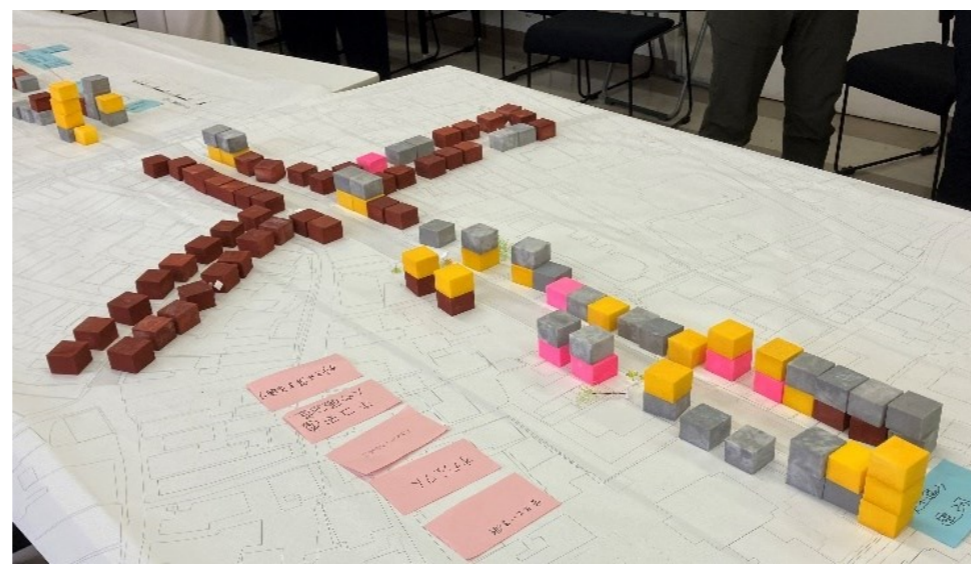
Mail:toshikeikaku@city.tsushima.lg.jp



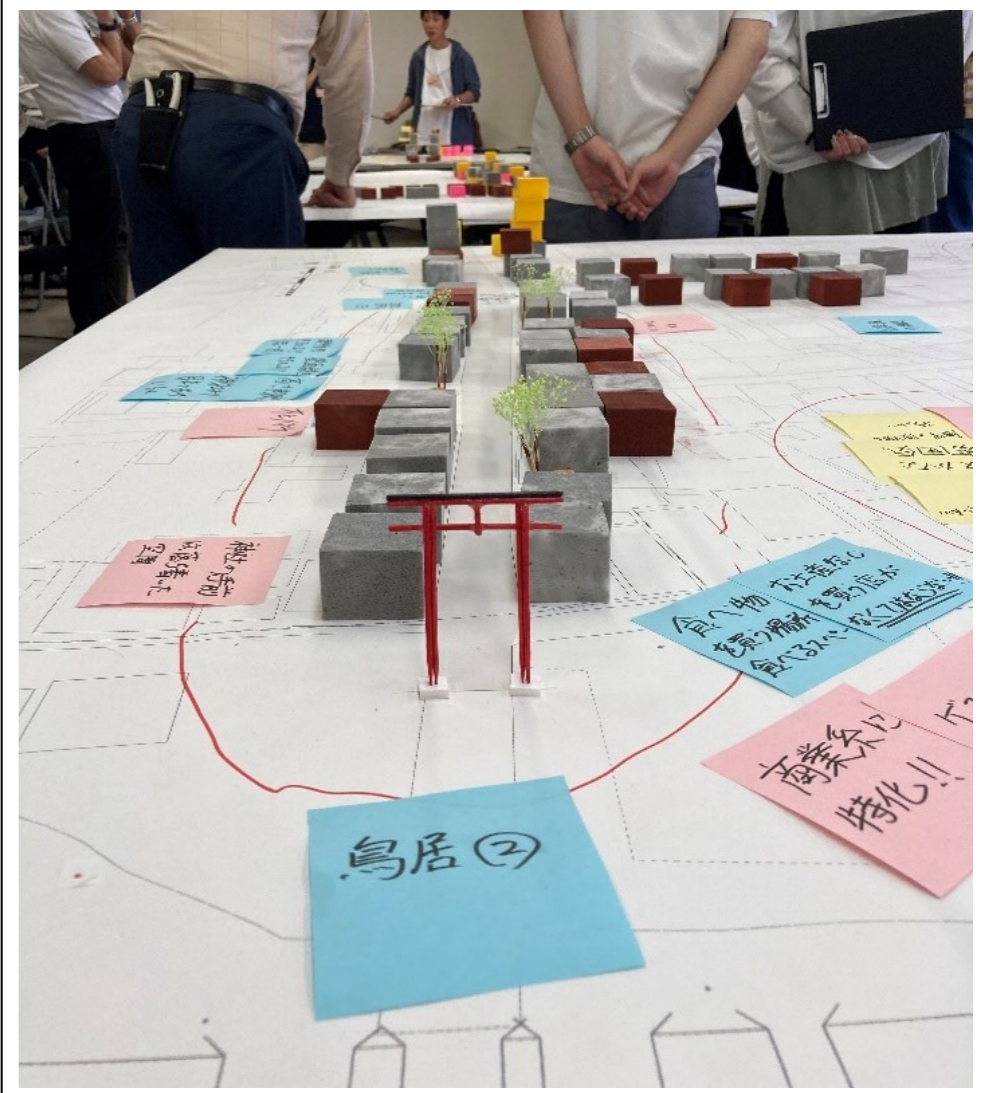
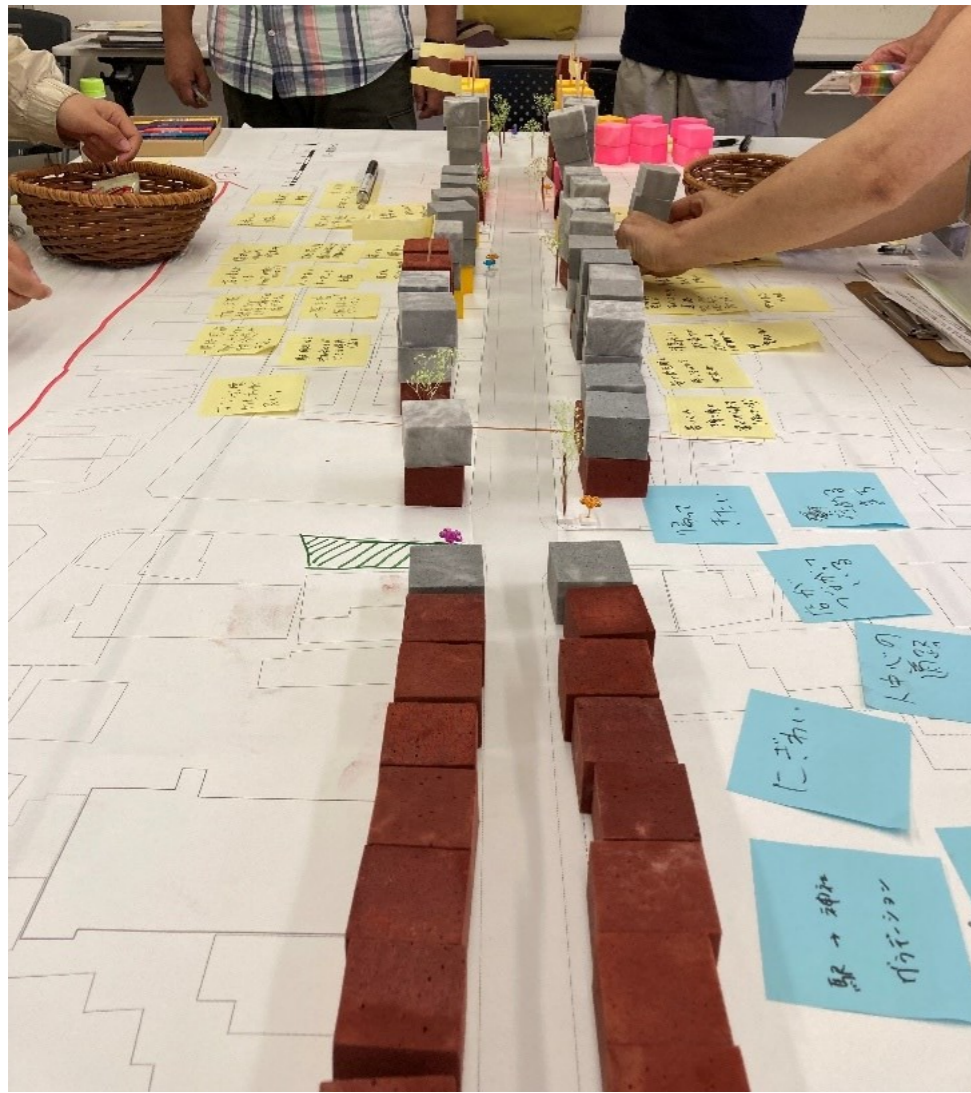
# 駅前ゾーン



# まちなかゾーン



# 神社ゾーン



各ゾーンの建物ユニット成果を3次元空間に表現したものはこちら→→→  
スマートフォン等で読み取って、ぜひ確認してみてください!!



## 駅前ゾーン

低い

色や高さの自由度

高い

人の流れ

津島の  
玄関口

### ゾーンの全体方針

- ・津島市の玄関として、にぎわい・自由さを重視し、規制は最低限とする
- ・景観に関する規制は駅前から津島神社に向けて徐々に強くなっていくように設定する（規制のグラデーション）
- ・人々が訪れたい・帰ってきたいと思えるよう、商業系の建物を中心とし、にぎわいを創出する（歩行者中心の道）

### にぎわい

- ・マンションを増やした方が良い
- ・駅周辺なら待ち合わせができる場所（店）
- ・一階は店、二階以上はマンション
- ・入りやすいオープンなお店
- ・夜でも明るい（まぶしくない）
- ・文化（祭り）を感じられるような町並み（オブジェ）
- ・帰り道に寄り道できる
- ・ビアガーデン、駅前マルシェ
- ・音楽がかかっている（無音じゃない）
- ・一階は窓が大きくて開放感がある
- ・カフェ・洋服・雑貨など、女性が好む店がある
- ・店が並んでいる（シャッターが閉まっていない）
- ・夜でも安心して歩けるように明るくしてほしい
- ・顔的なおしゃれな町並み
- ・おいしいご飯
- ・活気ある駅前
- ・夜、お酒が飲める

### まちなみ

- ・若い人や子育て層の姿が見られる（住んでいる）
- ・昔の商店街を感じるような町並み
- ・津島らしい街並みを感じられる（街灯など）
- ・電柱がない
- ・緑

### 歩きやすい

- ・フラットな道
- ・歩道空間が広くて歩きやすい
- ・車が少ない（歩きやすい）
- ・デコボコが少ない
- ・小さな子や老人が安心して歩ける道路
- ・道路は歩道が広くてベビーカーも通りやすい
- ・街のサインがある
- ・小型モビリティで移動ができる

### 緑

- ・緑が街にある
- ・緑があつてくつろげる



## まちなかゾーン

### 居住について

- ・住民の生活、まちにひらかれている
- ・無理して住まなくてもいい（古い家は住みにくい）
- ・リノベーションして住んでもらい、地域に溶け込んでほしい

### 観光・商業について

- ・キョロキョロできるまち
- ・また来たい、通りたくなるまち
- ・のんびり、ゆっくり歩く（居場所・椅子がほしい）
- ・津島神社へ行くまでの楽しい通り、見る・買う・遊ぶ
- ・水の流れ、空気の流れ、人の流れ
- ・好きが深まる通り
- ・にぎわいのある通り
- ・歩行者天国、歩行者が中心の通り
- ・駐車場の確保が必要、天王通りは歩いてもらいたい
- ・こだわりや、アクセントになるものがほしい

古民家風の建物をイメージ

### ゾーンの全体方針

- ・景色を見て楽しみながら歩けるよう、歩行者中心（優先）にする
- ・新しい景観（天王通り周辺）と古き良き景観（本町筋周辺）を融合・共存させ、今と昔を感じられるようにする

歩行者優先の道路

建物は本町筋と共存させつつ、自由度を持たせる

- ・車道をなくして、運河があったらいい（天王通り運河）
- ・船で神社へ参拝にいけたら話題性がある

# 神社ゾーン

- ・天王通1交差点に鳥居があるとよい
- ・天王通1交差点の交差点・信号の名称を「津島神社前」等にしたいほうがよい

鳥居②

色・高さ等の規制：**強程度**

天王通1  
交差点

鳥居①



色・高さ等の規制：**中程度**

## 参道

- ・商業系に特化
- ・ゲストハウスを置きたい
- ・食べ物を買う場所、食べるスペース
- ・お土産などを買う店がなくてはならない
- ・神社の手前は落ち着いた空間
- ・目印として木がある空間
- ・木とベンチ
- ・リズムカルな風景
- ・石畳風の舗装
- ・駐車場がある（訪れやすい）

## アイデンティティ

- ・神社を活かした町並み
- ・津島のアイデンティティ
- ・季節を（祭りだけでなく）感じたい
- ・徐々に神社につながる空間
- ・全国天王総本社として全国とつながる場所
- ・歴史ある建物を残したい
- ・津島神社の歴史＝津島の歴史
- ・清らかな場所
- ・歴史を残したい
- ・厳かな雰囲気

## 雰囲気

- ・門前、お出迎え空間、お参りの準備
- ・静かな場所
- ・社叢（自然）
- ・清潔な町
- ・祈りの場

## 建物

- ・建物（壁面線）をそろえる（統一感）
- ・高さ制限
- ・神社より目立つものはいらない

## ゾーンの全体方針

- ・天王通1交差点より西側は建物の色や高さ等の規制を強くして、津島神社の厳格な雰囲気を保つ
- ・天王通1交差点より東側は西側ほど規制を強くしなくてよいが、連続性を意識し、中程度の規制とする

天王川公園